

## 第4回プリオン専門調査会における議論の要点

日時 平成16年2月3日(火) 17:00～19:30  
場所 食品安全委員会 中会議室  
議事 米国における牛海綿状脳症(BSE)に伴う海外調査及び日米会合の状況について

### <議論の要点>

海外調査団の報告書及び米国の追加的措置を踏まえ、以下の問題点を明らかにするために、さらに情報収集を行う必要がある。

#### 1 BSEサーベイランスについて

- (1) 対象牛の種類と割合が不明確であり、BSEの汚染状況を把握することができない。
- (2) スクリーニング検査と確定検査の検査方法、検査体制等が不明確であり、BSEサーベイランスの検査の信頼性を判断できない。

#### 2 レンダリング及び飼料管理について

- (1) 農場死亡牛及び特定危険部位の除去後の処理方法(レンダリングなど)が不明確であり、BSEの汚染拡大の可能性も否定できない。
- (2) 飼料の製造管理の実態や監督方法が不明確であり、交差汚染の可能性が否定できない。

#### 3 牛の個体識別制度について

- (1) 米国が実施することを検討している牛の個体識別制度の内容を確認する必要がある。

#### 4 その他

- (1) 追加的なBSE対策が適正に実行されるよう監督システムを強化する必要がある。
- (2) 今後リスク評価を行うにあたって、日本で確認された国内8頭目及び9頭目のBSE感染牛が重要なポイントになることから、国際的な見解も含めてさらに情報収集する必要がある。